令和７年度 宮城県芸術選奨 新人賞受賞記念

吉岡知広 無伴奏リサイタルシリーズ

ALONE

final



静寂のあとに、響きは世界へと広がっていく。

ひとりで辿り着いた、静寂の深み。
無伴奏の果てに見えた景色。

ALONE － 無伴奏の世界 －

【第１部】 J.S. バッハ
無伴奏チェロ組曲 第５番 ハ短調 BWV1011
J.S.Bach: Cello Suite No.5 in c minor, BWV1011

J.S. バッハ
無伴奏チェロ組曲 第６番 ニ長調 BWV1012
J.S.Bach: Cello Suite No.6 in D Major, BWV1012

ALONEが最終回を迎え、
新たにBeyondシリーズが始まる。

Beyond

－ 新シリーズ、その先へ －



Piano
坂本 彩
Aya SAKAMOTO
［共演］

【第２部】 R. シューマン
幻想小曲集 作品73
R.Schumann: Fantasiestücke Op.73

J. ブラームス
チェロ・ソナタ 第２番 ヘ長調 作品99
J.Brahms: Cello Sonata No.2 in F major, Op.99

2026 12.4 Fri.
18:30 開場
19:00 開演

宮城野区文化センター PaToNa ホール
仙台市宮城野区五輪 2-12-70
（JR 仙石線「陸前原ノ町」駅より 徒歩１分）

Ticket
全席自由
一 般 3,500円
U-25 2,000円
9月4日（金）発売

U-25チケットは公演日時点で25歳以下の方が対象です。
ご入場の際、年齢のわかる身分証をご提示いただく場合がございます。

teket
teketをご利用の方は購入後に送られるQRコードを入場口でご提示ください。
購入サイト

・藤崎
・仙台中央音楽センター
（平日 10:00～17:00）

後援
公益財団法人 仙台フィルハーモニー管弦楽団
公益財団法人 仙台市市民文化事業団
（仙台国際音楽コンクール事務局）
河北新報社

助成
芸術銀河・宮城県芸術選奨作品等支援事業補助金

マネジメント・チケットのお問い合わせ
HAL PLANNING
TEL：022-262-1682
（平日 10:00～18:00）
MAIL: halplanning.email@gmail.com

芸術銀河



吉岡 知広　｜チェロ

Tomohiro YOSHIOKA, Cello

仙台市出身。桐朋女子高等学校音楽科（共学）を経て桐朋学園大学音楽学部を卒業。その後渡独し、ライプツィヒ音楽演劇大学大学院に在籍する傍ら、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団と学生契約を結び、同楽団での演奏経験を積む。大学院修了後は同楽団アカデミーに所属し、ドイツの伝統あるオーケストラ文化の只中で研鑽を重ねた。

第9回ビバホールチェロコンクール第4位入賞。

これまでにチェロを金木博幸、青木十良、藤原真理、毛利伯郎、クリスティアン・ギガーの各氏に師事。室内楽を弦楽四重奏を中心に今井信子氏、東京クヮルテットに師事。

ソリスト、室内楽奏者として多彩なステージに立つほか、国内オーケストラの客演首席としても高く評価されている。低弦の魅力を発信するユニット「伊達 LOW Strings」をコントラバス奏者・名和俊氏と共に結成し、クラシックに新たな光を当てるエンターテインメント性あふれる公演を展開している。また、無伴奏チェロ作品に焦点を当てる独創的シリーズ「ALONE」を自らプロデュースするなど、活動の幅は多岐にわたる。

2020年より、地元・仙台銀行ホール イズミティ21のコンサートシリーズ「イズミノオト」の企画コーディネーターを務め、作曲家の源流に迫る独自のプログラム構成・人選・演奏で好評を博す。

令和7年度宮城県芸術選奨新人賞受賞。

現在、仙台フィルハーモニー管弦楽団チェロ首席奏者。



坂本 彩　｜ピアノ

Aya SAKAMOTO, Piano

兵庫県出身。東京藝術大学を卒業後、明治安田クオリティオブライフ文化財団奨学生、文化庁新進芸術家海外研修員としてベルリン芸術大学及び同大学院を修了。

全日本学生音楽コンクール中学校の部、高校の部全国大会第1位。松方ホール音楽賞受賞。アミグダーラ国際ピアノコンクール（イタリア）優勝、アルトゥール・シュナーベル国際コンクール（ドイツ）最高位、仙台国際音楽コンクール入賞、ホセ・イトゥルビ国際ピアノコンクール（スペイン）入賞及び現代曲最優秀演奏者賞他、これまでに多くの賞を受賞している。

その後、ドイツ、ロシア、イタリア、スペインの各都市に於いても活動を展開し、これまでにヴァレンシア管弦楽団、ムルシア交響楽団、大阪交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団等の国内外のオーケストラと多数共演。

2019年にはNHK-BSドキュメンタリー「蜜蜂と遠雷 – ピアニストたちの18日間」にてその活動が取り上げられた。同年より活動の拠点を日本に移し、ブラームス全曲演奏プロジェクトを開始。（公財）明石文化国際創生財団「明石クラシック室内楽コンサート」のプロデュースも行っている。

東京藝術大学音楽学部講師を経て、現在は京都市立芸術大学、大阪音楽大学、神戸女学院大学にて後進の指導にあたる他、全日本学生音楽コンクール等の審査員を務める。

令和4年度兵庫県芸術奨励賞を受賞。